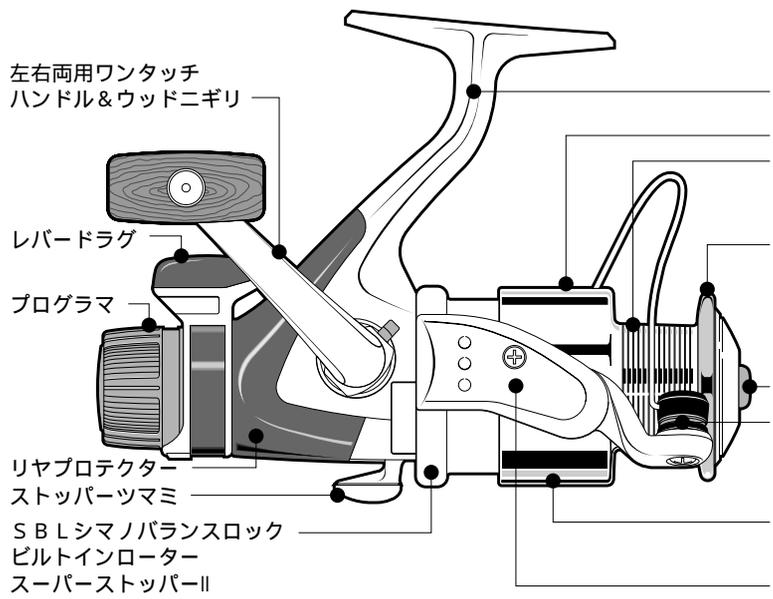




各部の名称と仕様



- ボールベアリング内蔵4個  
ローラーベアリング1個  
フラッシュサーフェスデザイン  
バイオグリップ
- ラインホルダー  
ロングストローク  
完全平行巻
- チタンコーティング  
ステンレススプールリング
- プッシュボタン
- ボールベアリング内蔵  
チタンコーティング  
パワーローラー
- アルミマシンカット  
スプール
- ポジティブベール

品番 製品コード	ギヤ比	最大 ドラグ力 (kg)	自重 (g)	ベアリング数		糸巻量 (号・m)
				ボール ベアリング	ローラー ベアリング	
1000 SC561000	5.2	2	275	4	1	1.5-130 2-100 3-65
2000 SC562000	5.2	2	280	4	1	2-150 3-100 4-70
3000 SC563000	5.1	4	355	4	1	2-220 3-150 4-100
4000 SC564000	5.1	4	370	4	1	3-200 4-150 5-110

いままでのスピニングリールを更にパワーアップしたSHIP

**SHIP**

スムーズ&ハイパワーシステム  
SMOOTH&HIGH POWER SYSTEM

いままでにない巻き上げ、軽さ、スムーズな  
回転、強力で敏感なリールリングパワーを実現  
しました。

**BUILTIN ROTOR**

ビルトインローター  
アームカムを内側から取付けたことにより糸ガラムを解消しました。

**POSITIVE BAIL**

ポジティブベール  
ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。

**SUPER STOPPER II**

スーパーstopper II  
これまでのスーパーstopperをさらにグレードアップしたローラーベアリング内蔵のstopperで、瞬時のアワセや糸フケとそれにとまなうガイドがらみを防止します。

- ステンレススプールリング付きアルミマシンカットスプール
- ロングストローク・完全平行巻
- バイオグリップ
- ボールベアリング内蔵4個
- ローラーベアリング内蔵1個
- フラッシュサーフェスデザイン
- ロングライフスプリング
- 高性能クリック機構付きフロントドラグ

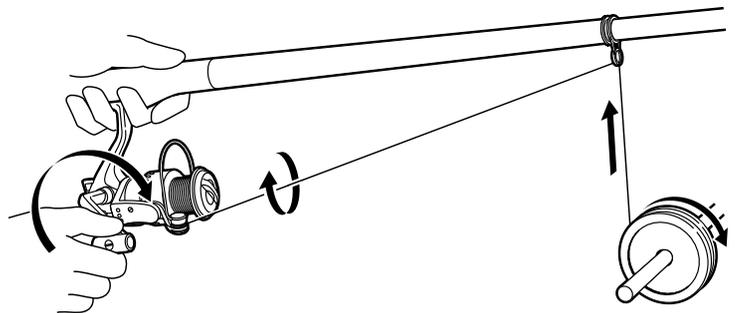


**パワーローラー**

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻き取る時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻き取る時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

**パワーローラーご使用上の注意**

「パワーローラー」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。

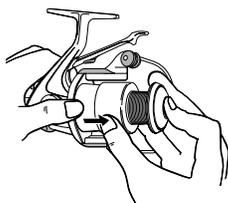


図のようにリールを竿に取り付けます。  
第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。  
ドラグの締まっていることを確認して下さい。  
糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。  
それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

- 1 糸ヨレについて  
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。  
もともと糸がヨれている時。  
ドラグが作動した時。  
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。  
新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。  
非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。  
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻き取る時。  
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。
- 2 当社比、平均50%解消  
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

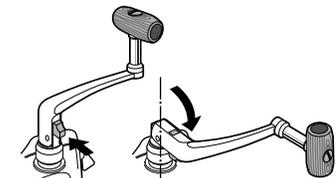
操作方法

**スプールの脱着方法**



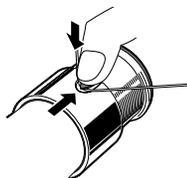
取りはずし方  
人差し指でプッシュボタンを押しながら、スプールを引いて下さい。  
取りつけ方  
スプールをゆっくり回しながら、カチッと音がするまで押し込みます。確実に装着できたか、一度引っ張ってはずれないか確認してください。

**ワンタッチハンドルの折りたたみ方法**



ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒して下さい。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆になります。

**ラインホルダー**



とめ方  
人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらしてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。

**レバードラグの操作**

- 実際に使用する竿に本機を取り付け、道糸をガイドに通します。
- レバードラグを中央のストライクポジションに合わせます。ストライクポジションに合うと、カチッと音がします。
- ラインの先端を何かにつけ、図のように竿をしぼり込みます。
- この状態で、糸が少しずつ出ていくようにプログラマを調整します。
- プログラマつまみを時計まわりに回すとドラグ力は増加し、逆に回すとドラグ力は減少します。

以上で最適ドラグ値の設定は完了です。設定後、プログラマ操作は不要です。あとはレバードラグを左に右に倒すだけで、やりとりはまさにトルーリング感覚。最適ドラグはいつも一定。レバーをセンターに戻すとクリック音と目で確認できます。

使用する竿や仕掛けを変えた場合は同様の手順で再調整してください。

より正確にドラグ値を設定する場合

- の時にバネ計りを使用します。バネ計りを固定するか、他の人にもってもらい、糸の先端をバネばかりに結びつけます。こうしておいて、バネ計りの目盛りをよみながらドラグ力を設定するわけです。

糸の破断強度の1/3がおすすめ設定値です。

